

令和4年7月1日  
農林水産部畜産振興課

報道関係者各位

### 新たな県産種雄牛「幸紀陸(さきりく)」号の誕生について

本県では、和牛の改良と「総称山形牛」のブランド力の向上を図るため、優れた県産種雄牛の作出に取り組んでおります。

このたび、「幸紀陸」号は、歴代の県産種雄牛の中において、脂肪交雑（霜降り度合い）が最も優れ、肉質で高い能力を持つことが明らかになったことから、新たな種雄牛としてデビューすることになりましたので、報道についてよろしくお願ひします。

記

○「幸紀陸」号

- ◇ 生産者 新庄市 中川 和宏(なかがわ かずひろ)氏
- ◇ 生年月日 平成28年11月8日
- ◇ 血統 気高系種雄牛として全国的に著名な「幸紀雄(さきお)」号を父に持つ。母「しげりく」の「脂肪交雑」の育種価（遺伝的能力）は、県内トップクラス。
- ◇ 能力 歴代県産種雄牛の中で、脂肪交雑（BMS No.）が最も優れ、上物率（4等級以上の割合）は2番目に優れた成績。



○検定成績

種雄牛名	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> ) (ロースの大きさ)	歩留基準値 <sup>※1</sup>	脂肪交雑 (BMS No.) (霜降り度合い)	上物率 (%) (4等級以上の割合)
幸紀陸	475	66.6	74.5	<u>10.1</u> <sup>※2</sup>	<u>95</u> <sup>※2</sup>
【参考】 これまでの最高値及び種雄牛	536 冬景21 (気高系)	71.9 冬景21 (気高系)	75.6 神安平 (但馬系)	9.3 幸花久 (但馬系)	100 翼満開 (気高系)

※1 枝肉からどれ位の部分肉を得られるかを示すもの (A:72以上、B:69以上72未満、C:69未満)。

※2     は歴代最高成績、    は2番目の成績。脂肪交雑は霜降り度合いでNo.12が最も良い。

【問い合わせ先】  
農林水産部畜産振興課  
畜産ブランド推進主幹 鈴木 徹  
TEL 023-630-2471  
〔報道監〕  
農林水産部次長 森谷 健